

施策番号	1211		
施策名	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してらせるしくみづくり		
概要	地域社会での相互支援の仕組みを再構築するとともに、福祉ボランティアの活動を支援し、地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会を構築する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	121 すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす		

施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 ボランティア登録者数（人）	b	a	47778	49415	47778	103.4%	a
2 ボランティア相談件数（件）	b	a	3943	2277	3943	57.7%	-
3 ファミリーサポートの登録者数（人）	b	a	2453	2975	2453	121.3%	a
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	23	4.0%	22	4.2%	25	5.2%
b: どちらかというと思う	104	18.2%	107	20.4%	81	17.0%
c: どちらとも言えない	193	33.7%	164	31.2%	149	31.2%
d: どちらかというと思わない	137	23.9%	146	27.8%	122	25.6%
e: そう思わない	116	20.2%	86	16.4%	100	21.0%
有効回答数	573		525		477	
市民生活実感評価	d		d		d	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	b	a	a
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	C	C	C
重み付け		(理由)	
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会が構築されていることを市民が実感することが重要であることから、市民生活実感評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

客観指標評価は、ボランティア登録者数及びファミリーサポート登録者数は大きく伸びており、全体としてはやや良い状況にある。一方で、市民生活実感評価はやや悪い状況にあるが、両評価を総合的に勘案して、施策の目的がそこそこ達成されていると評価している。

地域福祉活動は、福祉ボランティア活動をはじめとする市民活動の進展と相まって着実に推進されているが、福祉に対するニーズの複雑多様化等を踏まえ、今後も平成16年3月に策定した「京（みやこ）地域福祉推進プラン」に基づき、自助・共助・公助の考え方に基づく新しい福祉社会の構築に向け、取組を進める。

（ボランティア相談件数は、18年度から算定基準を見直したため、19年度評価は実施せず、20年度から評価を行なう。）

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
主	1 災害見舞金、災害弔慰金支給	3,432	3,432	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部保健福祉総務課
主	2 サービスアセスメント事業	1,559	1,559	現状のまま継続等	保健福祉局保健福祉部保健福祉総務課
主	3 社会福祉協議会助成	461,509	427,873	効率化等による見直し	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	4 区ボランティアセンター運営	25,436	24,132	現状のまま継続等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	5 ボランティア活動推進助成	2,169	2,169	現状のまま継続等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	6 福祉地区対策事業	76,230	74,487	縮小等による見直し	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	7 夏季歳末特別生活資金貸付	222,406	210,327	現状のまま継続等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	8 京都社会福祉会館運営補助	3,479	3,479	現状のまま継続等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	9 ホームレス緊急福祉対策	10,977	9,337	現状のまま継続等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
主	10 地域福祉権利擁護事業	44,696	77,532	充実	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
合計		1,946,372	1,837,831		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		1,929,724 (16,648)	1,820,996 (16,835)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1211	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらするしくみづくり				
指標名	ボランティア登録者数（人）					
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175			
1 指標の説明						
京都市福祉ボランティアセンターが実施しているボランティア保険の加入者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民のボランティア活動の参加状況を示す指標			京都市福祉ボランティアセンターから毎年報告される数値			
4 数値						
	前回数値 17年度	最新数値 18年度	推移	目標値		
	47778	49415		数値	根拠	達成度
数値	47778	49415	1637人増	47778	過去3年間の最高値	103.4%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：過去3年間の最高値以上 b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去3年間の上中間と平均値の間 d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：過去3年間の下中間以下			登録者数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去2年間の数値をもとに基準を設定した。 なお、平成15年度事業開始のため、当面は事業開始以降の数値とする。 最高値 47,778（平成17年度） 平均値 44,613 最低値 41,448（平成15年度）		17 18 19 b a a	

指標名	ボランティア相談件数（件）					
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175			
1 指標の説明						
京都市福祉ボランティアセンターでのボランティアに関わる相談件数の合計						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市民のボランティア活動への支援の状況を示す指標			京都市福祉ボランティアセンターから毎年報告される数値			
4 数値						
	前回数値 17年度	最新数値 18年度	推移	目標値		
	3943	2277		数値	根拠	達成度
数値	3943	2277	1666件減	3943	過去3年間の最高値	57.7%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：過去3年間の最高値以上 b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去3年間の上中間と平均値の間 d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：過去3年間の下中間以下			登録者数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去3年間の数値をもとに基準を設定した。 なお、平成15年度事業開始のため、当面は事業開始以降の数値とする。平成18年度はカウント方法を変更したため、評価対象としない。 最高値 3,943（平成17年度） 平均値 3,131 最低値 2,319（平成15年度）		17 18 19 b a -	

施策名	1211	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してらせるしくみづくり
-----	------	------------------------------

指標名	ファミリーサポートの登録者数（人）
-----	-------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市ファミリーサポートセンターの会員として登録している人の人数

2 指標の意味

地域で安心して子育てをするためのサービス提供体制の充実度を示す指標

3 算出方法・出典等

会員数の総合計
(出典：事業実績報告書)

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	2453	2975	522人増	2453	過去3年間の最高値	121.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新の数値が
a：過去3年間の最高値以上
b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去3年間の上中間と平均値の間
d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去3年間の下中間以下

6 基準説明

会員数は上昇傾向にあることが好ましい指標であるため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。なお、平成14年度事業開始のため今年度は過去3年とする。
最高値：2,453（平成17年度）
平均値：1,938
最低値：1,381（平成15年度）

7 評価結果

17	18	19
b	a	a